

表紙の図について

「ラバーシーティング」

名古屋大学附属図書館では、所蔵する貴重書資料「高木家文書」等のデジタル化を進めています。平成16年度からは、日本学術振興会の科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受け、貴重書コレクションを統合した「エココレクションデータベース」として、構築中です。平成17年度から新たに開発・構築中のコンテンツが「木曾三川流域環境史GIS（注1）」です。

<http://gis.nul.nagoya-u.ac.jp/>

表紙の図は、幕末頃の三川流域を描いた絵図「木曾三川大絵図」（西高木家文書。原図は159.7×191.6cm）の画像に「ラバーシーティング」(rubber sheeting)という手法を用いて補正するイメージを表現しました。この手法は古絵図の画像を、現代地図や衛星画像と適合させるために用いられています。

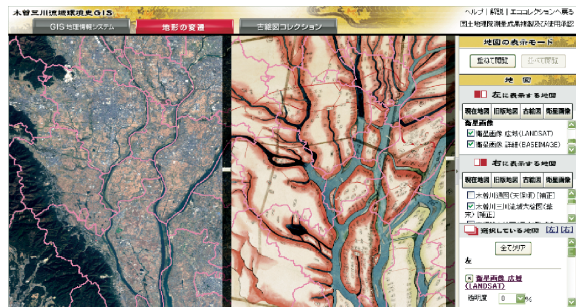
「木曾三川流域環境史GIS」の「古絵図コレクション」は、高木家文書デジタルライブラリーからセレクトされた古絵図の高精細デジタル画像であり、ここからは、巨大な古絵図も全体を俯瞰したり、逆にぐっとズームインして閲覧することも容易にできます。幾何補正を施すことにより、現在地図や旧版地図、衛星画像と並べたり、重ねて表示することも可能です。

なお、「エココレクションデータベース」搭載のデジタルデータについては、OAI-PMH (Open Archives Initiative Protocol for Metadata Harvesting) を使って、AKF (Academic Knowledge Factory：名古屋大学学術ナレッジファクトリー) がメタデータをハーベスティングしており、統合検索をすることができます。

<http://akf.nul.nagoya-u.ac.jp/>

注1)「GIS（地理情報システム）とは：位置や空間に関する情報をもったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示できる高度な分析や迅速な判断を可能にする技術です。」

（国土交通省GISホームページ<http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/>より）



（金沢大学情報部情報サービス課
前名古屋大学附属図書館：川添 真澄）